

---

ワーク・ライフ・バランス メールマガジン  
カエル！ジャパン通信 Vol.234 令和6年11月29日  
発行：内閣府 仕事と生活の調和推進室

---

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介 多様な選択肢をそろえて男性社員の育児参加を後押し  
会社名 株式会社システムインテグレータ

2. 最新情報

《お知らせ》 7件  
《地方公共団体等の動き》 10件

---

### ■□■ 1. 取組紹介 ■□■

多様な選択肢をそろえて男性社員の育児参加を後押し

---

会社名 株式会社システムインテグレータ

事業内容 パッケージ・ソフトウェアおよびクラウドサービスの企画開発・販売、コンサルティング、AIを使った製品・サービスの企画開発および販売

本社所在地 埼玉県さいたま市

社員数 241人（2024年10月1日現在）

表彰歴 プラチナくるみんプラス（2023年）

埼玉県多様な働き方実践企業プラチナ認定（2021年）

---

共働き世帯が増え、企業には、男性社員の育児参加を後押しする取組が求められています。多様な社員が働きがいを持ち、生き生きと活躍できる職場づくりをする中で、育児休業の取得促進にとどまらず、在宅勤務や週休3日制など多様な育児支援制度に力を入れている、株式会社システムインテグレータ人事総務部の遠藤あゆ美さんにお話を伺いました。

#### ◆男性の育休取得率67%、育児在宅勤務や週休3日の選択肢も

当社は20~30代の社員が全体の3分の2近くを占めており、小さい子どもを育てている世代が多いのが特徴です。このため、社員が安心して育児と仕事を両立できる企業を目指しています。

と言っても、「育児休業取得率〇%」などと目標を立てて計画的に施策を行っているわけではありません。ソフトウェアを作っている会社なので、「何よりも人が資本」という考え方が1995年の創業当時から根付いています。男性管理職が積極的に育休を取ると、それを見ている他の社員も気兼ねなく育休を取れるようになる。そんな環境で、ワーク・ライフ・バランスを大事にする社風が自然と醸成されてきたのだと考えています。

創業者の梅田弘之会長以下、役員が多くが新しいもの好きで、育児支援でも新しい制度を取り入れようという気風に満ちている面も大きいかもしれません。2007年に育休を子どもが満3歳になるまで取れるようにしたのは、当時としては先駆的な取組でした。23年度の育休取得率は女性が100%、男性が67%まで上昇しました。

育児支援は育休だけではありません。社員一人ひとりの業務内容やライフスタイルに合わせた多様な制度を導入しており、その代表例が、子どもが小学校に入るまで何度でも利用できる「育児在宅勤務制度」です。通常の在宅勤務は現在、月8日の上限を設定していますが、育児在宅勤務は上限がありません。賃金は通常勤務と同じ水準です。会社にとっては、育休取得による社員の長期不在を避けることができ、社員にはキャリアの中断を防ぐメリットがあります。ここ数年でペーパーレス化やシステム化を進めるなどして、全ての部署で在宅勤務が可能となったこともあり、現在の育児在宅勤務の利用者は男女合わせて14人います。

その他、始終業の時刻や休憩時間を本人が自由に設定できるフレキシブル勤務制度、土日以外の特定の曜日を休みにする週休3日制度、通常の就業時間(9:20~18:00)を最大3時間短縮できる時短勤務制度などを用意しており、併用もできます。いずれも、会社が一方的に作った制度ではなく、育児世代の社員の意見を参考にしたものですから、使いやすいと好評です。

#### ◆社員間の連携や情報共有で、育休時の業務引き継ぎもスムーズに

育休を取得する際には、数か月前から上司と相談しながら業務を引き継ぎます。1人の社員に引き継ぐ場合は、ある程度時間をかけて業務を一緒に行い、引き継いだ社員が自走できるようにします。業務を切り分けて複数のメンバーに割り振り、負担を分散させることもあります。管理職が取得する場合は、関係部署やメンバーにあらかじめ伝え、管理業務の代理者や承認ルートの確認など当人が不在でも管理業務が滞りなく進むようにします。

部署や役職によって業務内容は様々ですから、引き継ぎフローをはっきりと制度化しているわけではありません。それでも、日頃から情報共有や業務のマニュアル化を進め、属人化を防ぐようにしているため、「この人がいないと仕事が回らない」という状況は生まれにくくなっています。

このように社員間の連携がスムーズに行われている背景には、当社が経営理念の一つとして掲げている「風通しのよい相互尊重の精神」というスローガンがあります。お互いを

尊重しながら、働きやすい職場を皆でつくっていかう、という考え方です。よって、育休取得者が所属する職場の社員も快く業務を引き受けます。また、役員を含めて社員同士は「さん」付けで呼び合い、役職名で呼ぶことはありません。さいたま市の本社オフィスは、パーティションがないオープンな環境で、役員の個



さいたま市の本社オフィス。パーティションがなくフリーアドレスで、自由に席を移動できる



気軽に臨める

「1 on1 ミーティング」

室もありません。

フリーアドレスですから、他の社員に迷惑をかけない範囲で自由に場所を移動できます。

また、業務や評価とは一切関係ないテーマについて管理職と気軽に話し合う「1on1 ミーティング」を2か月に1回行っています。こうしたコミュニケーション活性化の様々な取組を通じて、相互理解が進み、会話しやすい環境が自然と生まれています。

#### ◆不妊治療の社員に特別休暇制度

当社は出産に関する支援も強化しています。産前休業（無給）は、妊娠が判明した日から取得できます。2019年からは、男性も配偶者の妊娠が判明した日から産休（無給）取得が可能になりました。また、不妊治療が保険適用されたことを受けて、22年12月に「ヘルスサポート休暇制度」を導入しました。生理・不妊治療による通院の場合、制限なく休暇（無給）がとれる制度です。この取組が評価され、23年3月に「プラチナくるみんプラス」の認定を受けました。



2023年3月に「くるみんプラス認定」を取得。引屋敷智社長（左）と人事総務部のお2人

社員一人ひとりのライフスタイルを尊重する姿勢は、制度の見直しにも不断に反映させています。24年9月からは、社内制度における「配偶者」の範囲をLGBTQ（性的少数者）や事実婚者にも広げ、結婚祝い金（4万円）や慶弔休暇（3日間）の対象としました。

充実した福利厚生に加えて、社員のスキル向上に対するサポートにも力を入れています。資格取得のための受験費用を補助（1回目は合否にかかわらず、2回目以降は合格時のみ）するだけでなく、一部資格については

維持費用の半分を補助しています。「時間を与えるソフトウェアを創り続ける」という当社のミッションを遂行するため、多様な社員が働きがいを持ち、生き生きと活躍できる職場づくりをこれからも進めていきます。

## ■□■ 2. 最新情報 ■□■

《お知らせ》

【内閣府男女共同参画局】

### ■ 「ダイバーシティ・マネジメントセミナー」申込受付中（内閣府・経団連共催）

日本経済団体連合会と共催で、ダイバーシティ・マネジメントセミナーを開催します。

「女性登用のパイプライン強化のために企業ができたこと～経営視点から見る女性活躍と具体的取組事例～」をテーマに、先進企業より、女性役員・管理職比率向上につながるパイプライン強化の取組や経営者として意識されていること等についてご講演いただくとともに、施策を進める中で出てきた課題や具体的な取組・工夫点についてもお話を伺い、企業経営における女性登用とそのパイプライン構築の重要性や具体的な取組方法について改めて認識を深め、その推進につなげていきます。

経営者、マネジメント層の方、人事担当者の皆さまをはじめ、どなたでも御参加いただけますので、ぜひ御申込ください。

日時：令和7年1月29日（水）10:00～11:30

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

内容：1.基調講演「多様性を尊重した「全員活躍」の推進」

カルビー株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 江原信氏

2.事例紹介「女性活躍推進の取組事例と賃金差異の要因分析から見えた課題」

株式会社トリドールホールディングス ハピネス・ヒューマンサポート本部

ハピネスカルチャー推進部 部長 古川雅代氏

申込方法：Web（締切：令和7年1月22日（水））

※事前申込制、参加費無料

<https://wwa.cao.go.jp/wlb/event/meeting.html>

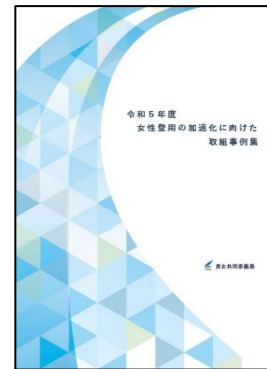
【内閣府男女共同参画局】

### ■ 「女性登用の加速化に向けた取組事例集」を公表しました



政府は、プライム市場上場企業の女性役員に係る「2030年までに30%以上を目指す／2025年までに19%」「2025年までに女性役員ゼロ企業を0%」等の目標を掲げており、管理職、更には役員へという女性登用のパイプライン構築に向けた取組等の推進が重要です。

このような状況を踏まえ、女性の登用拡大がもたらす好影響や女性の登用を推進している企業の好事例等について調査を行いました。企業へのアンケートやヒアリングの結果を踏まえ、女性登用の加速化に向けたポイントや様々な業種の企業がどのように困難を乗り越えながら女性登用を推進してきたか等について、まとめていますので、以下の URL よりぜひ御覧ください！



<https://www.gender.go.jp/policy/mieruka/company/yakuin.html#chousa>

#### 【文部科学省】

■国立女性教育会館（NWEC）では、「男女共同参画統計リーフレット 2024」の「学習版」を発行しました

「男女共同参画統計リーフレット 2024」は、男女間の意識による偏り、男女の格差の現状やその要因、影響を統計によって把握することを通して、ジェンダー不平等を解消することを目的とした「ジェンダー統計」活動の一環です。

今回発行した「学習版」では、人口・世帯、教育、生活時間、労働と所得、健康・安全・社会保障、地位指標、意思決定といった項目について、主として政府機関が公表した公的統計データ等に加え、解説も掲載しています。今年度は英語版も作成しました。

男女の置かれている状況をデータに基づき客観的に把握し、男女共同参画社会形成を進めるために、ぜひ学習活動等でご活用ください。

<https://www.nwec.go.jp/about/publish/ego7ap0000001pyn.html>

#### 【厚生労働省】

■12月は「職場のハラスメント撲滅月間」です

職場におけるハラスメントは、働く人が能力を十分に発揮することの妨げになることはもちろん、個人としての尊厳や人権を不当に傷つける等の人権に関わる許されない行為です。また、企業にとっても、会社秩序の乱れや業務への支障が生じたり、貴重な人材の損失に繋がり、社会的評価にも悪影響を与えかねない大きな問題です。

厚生労働省では、ハラスメントのない職場づくりを推進するため、年末に向けて業務の繁忙等によりハラスメントが発生しやすいと考えられる12月を「職場のハラスメント撲滅月間」と定め、集中的な広報を実施します。

その一環として、「職場におけるハラスメント対策シンポジウム」を12月10日（火）にオンラインで開催します。是非、ご覧ください。

■「職場におけるハラスメント対策シンポジウム」開催

- ・基調講演「カスタマーハラスメント対策の現状について」

講師：原 昌登 教授（成蹊大学法学部）

- ・パネルディスカッション「企業のカスタマーハラスメント対策の取組事例」

日時：令和6年12月10日（火）13:30～15:15（13:00 オンライン画面スタート）

場所：オンライン

参加費：無料

申込方法：Web（締切：12月10日（火）12時）

<https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/symposium>

■ハラスメント対策の総合情報サイト「あかるい職場応援団」

<https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>

【厚生労働省】

■労働契約等解説セミナー動画 公開中

労働契約に関する基本情報をはじめとして、パートや契約社員などが長期的に活躍できる制度「無期転換ルール」や、「副業・兼業の促進に関するガイドライン」について解説している「労働契約等解説セミナー」の内容を分かりやすくまとめた動画を公開しました。

それぞれ使用者編、労働者編に分けて公開しておりますので、労働契約や関連する制度に関心をお持ちの方は、ぜひご覧ください。

また、セミナーで使用されたテキストのダウンロードも可能です。

<動画視聴・テキストダウンロード>

<https://roukeiseminar.mhlw.go.jp/archive.html>

<お問い合わせ>

厚生労働省委託事業「労働契約等解説セミナー2024」運営事務局

（委託先：株式会社読売エージェンシー）

TEL：03-5226-9919（受付時間：平日10時～17時）

【厚生労働省】

■「ユースエール認定制度」をご存じですか？

「ユースエール認定制度」は、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業（常時雇用する労働者が300人以下の事業主）を厚生労働大臣が認定する制度です。



認定を受けた企業は、ハローワークでの重点的なPRや、認定企業限定の就職面接会などへの参加といった支援を受けられ、若年人材の確保が期待できます。

また、認定の取得・維持に向けて取り組む中で、ワーク・ライフ・バランスの推進にもつながり、働きやすい職場であることをアピールできます。

各都道府県労働局又は最寄りのハローワークへお気軽にご相談ください。

- ・ユースエール認定制度の詳細

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000100266.html>

- ・若者雇用促進総合サイト

<https://wakamono-koyou-sokushin.mhlw.go.jp/search/service/top.action>



ユースエール認定制度の周知広報ポスター

## 【厚生労働省】

### ■「グッドキャリア企業アワード2024」受賞企業を決定しました

「グッドキャリア企業アワード」とは、従業員の自律的なキャリア形成支援について他の模範となる取組を行っている企業等を表彰する厚生労働省の施策です。取組の理念や内容、具体的な効果等を広く発信、普及することで、キャリア形成支援の重要性を社会に広め、定着を期すことを目的として行っています。

このたび、従業員の自律的なキャリア形成支援に取り組む企業15社（大賞（厚生労働大臣表彰）5社、イノベーション賞（厚生労働省人材開発統括官表彰）10社）を「グッドキャリア企業アワード2024」受賞企業に決定しました。

各受賞企業の主な取組を厚生労働省ウェブサイトでご案内していますので、ぜひ自社における従業員のキャリア形成支援のご参考にしてください。

<厚生労働省の報道発表資料と特設サイト>

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_45020.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_45020.html)

<https://www.mhlw.go.jp/career-award/>

<「グッドキャリア企業アワード 2024」受賞企業一覧と取組概要>

<https://www.mhlw.go.jp/content/11805001/001046513.pdf>

#### 《地方公共団体等の動き》

各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体等にお問い合わせください。

なお、以下の内容は、地方公共団体等の HP の内容を引用したものです。

#### 【栃木県】

とも家事×家事でモメない部屋づくり

共働き家庭の割合が多くなった今、忙しく過ぎていく毎日を楽しく過ごすためには、家族の力を総動員する必要があります。家族みんなで家事をシェアする「とも家事」を実践するコツを学び、家族がチームのように協力し合う体制を作りませんか？家事でモメない部屋づくりのレシピや、わが家に取り入れてみたい！と思えるようなモヨウ替えのノウハウも学べる講座です。

講師：三木智有さん（NPO 法人 tadaima! 代表理事

家事シェア研究者／インテリアコーディネーター）

日時：令和 7 年 1 月 25 日（土）13:30～15:30

対象・定員：どなたでも・30 名（先着順）

場所：とちぎ男女共同参画センター パルティ研修室 301

申込方法：Web・電話・Fax・直接来館

[https://www.parti.jp/kouza/index\\_kou03-2.html](https://www.parti.jp/kouza/index_kou03-2.html)

#### 【埼玉県】さいたま市

ライフキャリア講座 幸せな職業生活を自分の手をつかむために

色々な業務にチャレンジしたい、管理職になりたい、育児や介護と無理なく両立させたいなど、仕事に求めることは人それぞれです。希望する働き方に向けて、自分の労働条件や職場環境を理解し、どうすればよいかを考えて行動することが重要です。幸せな職業生活を自分の手をつかむためには、働くことの仕組みを学ぶことが大切だということをお話しいたします。

講師：金井 郁さん（埼玉大学人文社会科学部研究科教授）

日時：令和 6 年 12 月 15 日（日）14:00～15:30

対象・定員：さいたま市在住・在勤・在学の方・20 名（先着順）

場所：さいたま市男女共同参画推進センター 会議室 3

申込方法：Web・電話・Fax

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/010/002/004/p116228.html>



【神奈川県】横浜市

女性 50 代からの生活設計講座～お金・しごと・セーフティネット

ずっとシングルでも、パートナーを失って一人になったとしても、女性が人生後半を安心して生活するにはどんな手立てがあるのでしょうか。多くの女性をサポートしてきた経験豊富な講師から実際のところを聞き、自分にできそうなことを考えてみませんか。多方面の情報がぎゅっと詰まった講座です。

講師：中村真佐子さん(1級FP技能士)、山崎員世さん(キャリアコンサルタント)、戸塚区生活支援課職員

日時：令和6年12月11日(水) 13:30～16:30

対象・定員：おおむね50代からの女性・30人(先着順)

場所：男女共同参画センター横浜フォーラム 2階セミナールーム 2,3

参加費：1,200円

申込方法：Web・電話

<https://www.women.city.yokohama.jp/y/event/39494/>

【神奈川県】

女性のためのリーダー研修～自分らしく管理職への一歩を踏み出そう！～

多くの企業や組織で、管理職やリーダーとして女性の活躍が求められています。このセミナーでは、管理職を目指すみなさんが、自分らしく前向きな気持ちで役割を担えるよう、具体的な方法やマインドを学びます。組織づくりに必要な、マネジメント、コミュニケーション、問題解決スキルなどを講義とワークで実践的に身につけます。また、自身のキャリアや成長課題に向き合い、これからのビジョンやアクションを考えることは、自分らしく活躍し続けるためのヒントになります。セミナーに参加する同じ立場のみなさんとの交流を通じて、不安を乗り越え、自信をつけて活躍の場を広げていきましょう。

※本セミナーは全3回の連続講座です。全ての日程にご参加いただける方のみ、お申込みください。

講師：三輪英子さん(株式会社キャリアクリエーション代表取締役)

【第1回】キャリア形成に向けて自己を理解する

日時：令和7年1月22日(水) 13:00～17:00

【第2回】管理職の役割と求められるスキル(この回のみオンライン・Zoom)

日時：令和7年1月29日(水) 13:00～17:00

【第3回】組織における課題に向き合う

日時：令和7年2月5日(水) 13:00～17:00

対象・定員：係長・主任・サブリーダー相当職の女性(一定程度の業務経験を有し、自らの業務のほか部下や後輩のサポートを行うポジションにある方)・30名(抽選)

場所：かながわ県民センター301会議室(第1回と第3回)

受講料：1,500円（全3回分）

※初回セミナー当日、会場受付にて現金でお支払いください。

※欠席される回があっても返金はありません。

申込方法：Web

※お申込みの際の注意事項をご確認の上、受講申込みフォームよりお申込みください。

[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/kouza\\_event/w\\_leader\\_2024.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/kouza_event/w_leader_2024.html)

### 【新潟県】

育休ママのための職場復帰準備セミナー

職場復帰への不安を抱えていませんか？今抱えている不安や悩みを解消し、安心して復帰を迎える準備をしましょう。

※連続3回講座 連続参加できる方優先

※いずれも会場またはZoomによるオンライン参加

【第1回】「職場復帰まであと少し！気持ちの整理と私の未来を考える」

講師：林田香織さん（wonderLife 代表）

日時：令和6年12月20日（金）10:00～12:00

【第2回】「先輩ママの体験談と朝の時短 今からできること お肌編」

※会場でのご参加の場合：持ち物あり

講師：五十嵐さとみさん（株ポーラ TB 事業部 関越ユニット）

日時：令和7年1月23日（木）10:00～12:00

【第3回】「いよいよ職場復帰！ 気持ちが伝わるコミュニケーション」

講師：菊野麻子さん（フリーアナウンサー）

日時：令和7年1月30日（木）10:00～12:00

対象・定員：育休中で職場復帰の準備をしている女性・各回20名（先着順、会場・オンライン参加合わせて）

場所：新潟県女性センター 女性団体交流室2

申込方法：Web・電話・Fax

<https://npwf.jp/event/mama/>

### 【静岡県】浜松市

パパ&ママ講座 チーム「家族」をレベルUP ～夫婦のコミュニケーションと家事のポイントを知ろう～（全2回連続講座）

家事に育児に仕事にいつもパパママは大忙し。そんな中で次々に発生する家族のピンチを乗り切るには、日頃からの夫婦のコミュニケーションがカギ。夫婦の対話力をUPし、家事育児シェアのコツを知り、家族の笑顔を増やしましょう。

【第1回】サンゴクエストで夫婦の対話力をUP

講師：大迫由美子さん（サンゴクエスト認定ファシリテーター

デジタル庁認定 Well-Being ファシリテーター）

日時：令和7年1月18日（土）10:00～12:00

内容：ボードゲーム「サンゴクエスト」で産前産後の出来事をシミュレーションします。産後クライシスを乗り越える「対話力」を磨きましょう。

【第2回】わが家のミッションを見直して家事力UP

講師/家事アドバイス：浜松友の会のみなさん

アドバイザー：夏目恵介さん（NPO 法人浜松男女共同参画推進協会副理事長）

日時：令和7年1月25日（土）10:00～12:00

内容：日々、山積みの家事・育児のタスクを見直し、ポイントをおさえた家事のコツやテクニックを知り、わが家の家事力を底上げしましょう。

対象・定員：新婚～妊娠、産後、育児期の夫婦・8組16名（先着順）

場所：あいホール302利用室（浜松市中央区）

申込方法：Web・電話

<https://ai-hall.com/events/family2024/>

【愛知県】名古屋市

「愛知淑徳大学連携」リーダーシップに必要な力（全5回）

女性のエンパワーメントを高めるとともに、ネットワークを広げていくための核となる女性リーダー。基礎的な力をはぐくみワークを通して社会で生かせる力をつけていきませんか。

講師：野井未加さん（愛知淑徳大学 教授）

日時と内容：

令和7年2月10日（月）言葉の使い方～言葉の3つのレベルとは？～

令和7年2月17日（月）チームワークについて考えてみよう

令和7年3月3日（月）集団凝集性について学ぼう

令和7年3月10日（月）リードすることについて考えてみよう

令和7年3月17日（月）成熟したグループづくりについて学ぼう

いずれも10:00～12:00

対象・定員：女性・24名（抽選）

場所：イーブルなごや 第4集会室

受講料：1,500円（全5回分）

申込方法：Web・往復はがき等

<https://e-able-nagoya.jp/lec/21758/>

【三重県】

近未来リーダー育成プロジェクト STEP5 指導育成スキルアップのためのレクチャー  
ステップアップをめざす働く女性と働く女性を応援する管理職の皆さまへ

リーダーとしての自分に自信がない？では、どんなリーダーが理想でしょうか？従来のリーダー像にとらわれる必要はありません。あなたらしいキャリアを進み、望む未来を叶えるため、「近未来リーダー」としての「チカラ」を磨きましょう。

あなたの「チカラ」が、組織の、社会の「チカラ」になる！

【基調講座】Zoom ウェビナーによるオンデマンド配信

D&I から DEI へ 人が活きる組織の土壌をつくる E=エクイティとは

DEI とは、「ダイバーシティ（多様性）」「エクイティ（公平性）」「インクルージョン（包括性）」の略。人材を人財=資本と捉える「人的資本経営」には不可欠なものとして注目されています。ひとりひとりが生き活きと働ける組織やチームをつくるためのヒントを学びましょう。

講師：山極清子さん（株式会社 wiwiw 会長 経営管理学博士）

日時：令和7年1月初旬～25日（予定）（期間中のお好きなタイミングでご受講ください）

【集合型のセミナー】

講師：ザリッチ宏枝さん（コアハーモニー代表・vol.1～3のいずれも）

《vol.1》人の可能性を引き出す コーチング入門

日時：令和7年1月25日（土）13:30～16:30

《vol.2》自分の可能性を引き出す セルフコーチング

日時：令和7年2月8日（土）13:30～16:30

《vol.3》共に可能性を引き出し合う 協働的コーチング

日時：令和7年2月22日（土）13:30～16:30

対象・定員：三重県内在勤の女性（およびその上司・同僚）・15名程度

（vol.1～3のいずれも・抽選）

\*意欲があれば年齢や経験年数等は問いません。

\*原則すべてのプログラムを通してご受講ください。

\*お申込は女性限定ですが、基調講座は性別を問わず、受講者と同一組織で働く皆さまにご受講いただけます。上司や同僚の皆さまもぜひ一緒にご受講ください。

場所：三重県総合文化センター

申込方法：Web

<https://www.center-mie.or.jp/frente/event/sponsor/detail/51436>

【大阪府】大阪市

働く女性の仕事力アップ！～AI時代を見据えた新思考で創る、私らしい働き方～

業務のデジタル化が進み、AIも身近なものになってきています。AIが社会にもたらす影響や変化を知り、仕事への向き合い方などを考えます。ワークを交え、これからの行動計画を

立ててみることで、自分らしい働き方を見つけましょう。

講師：戸田和子さん（DX コンサルタント）

日時：令和6年12月7日（土）10:00～12:00

対象・定員：テーマに関心のある方・50名（先着順）

場所：クレオ大阪南

申込方法：Web・電話

<https://www.shisetsu-osaka.jp/shisetsu-nw/koza/detail.html?kozaId=52159>

#### 【福岡県】福岡市

男女共同参画・知っておきたい法律講座「労働問題対策（女性対象）」

セクハラ・マタハラ・パワハラに、残業代の不払やパートの更新、妊娠・出産して働き続けるには？介護との両立は？安心して働き続けるために、守るべき労働のルールを知りトラブルに備えます。

講師：細永貴子さん（弁護士、プライマリー法律事務所）

日時：令和6年12月21日（土）14:00～16:30

対象・定員：女性・40名（先着順）

場所：福岡市男女共同参画推進センター・アミカス2階 視聴覚室

申込方法：Web・メール・はがき・Fax等

※お申し込み時に講師への質問も受け付けます。（個別の法律相談に応じることはできかねます）

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/jigyosuishin/life/amikas/jyosei-roudou.html>

---

#### 【編集後記】

厚生労働省の令和5年度雇用均等基本調査によると、男性の育児休業取得率は30.1%となり、前年度の17.1%から大幅に伸びて初めて3割を超えました。育児・介護休業法の2021年改正により、本人や配偶者の妊娠・出産等を報告した従業員に対して育休取得の意向を確認するよう企業に義務付けたことなどで、男性が育休を取る機運が高まったようです。

とはいえ、女性の育休取得率は8割を超えており、男女間の差は依然として大きいのが実情です。企業あるいは社会全体に「男性は外で働き、女性は家庭を守る」という役割分担の意識が根強く残っていることなどの要因が考えられます。「こども未来戦略」（令和5年12月22日閣議決定）は、男性（民間）の育休取得率の目標を「2025年に50%、30年に85%」と設定しており、また、厚生労働省が「男性の育児休業促進事業（イクメンプロジェクト）」にて18～25歳の学生若年層を対象に2024年6月に行ったアンケート調査で



は、男性の8割以上が「育休を取得したい」と回答しています。企業には、男性の育休取得促進に向けたさらなる努力が求められています。

今回ご紹介した株式会社システムインテグレータは、「人が資本」という基本理念の下、社員間の連携や情報共有を密にすることによって、男女とも気兼ねなく育休を取得できる雰囲気を醸成するとともに、育児在宅勤務や週休3日制、時短勤務など、育休以外の選択肢も豊富にそろえており、社員が育児に参加しやすい環境づくりをしています。

企業の出産・育児支援策は、2022年4月から不妊治療の保険適用が始まったことを受けて、不妊治療をする社員へのサポートにも注目が集まっています。不妊治療を受ける人は増加傾向にありますが、通院回数の多さや精神面での負担などから、仕事との両立ができずに離職するケースも見られます。このため、厚生労働省は、仕事と子育ての両立に取り組む「くるみん」認定企業のうち、不妊治療のための休暇制度や短時間勤務制度などを設けている企業に「プラス」認定を追加しています。株式会社システムインテグレータは、不妊治療を対象とした「ヘルスサポート休暇制度」の導入で、「プラチナくるみんプラス」認定を受けました。また、中小企業が利用できる助成金制度もあります。

「プラス」認定の詳細、助成金については、下記サイトをご確認ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11909000/001249606.pdf>

---

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。  
御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<https://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<https://www.cao.go.jp/wlb/index.html>